



## 宝 物

校長 石田 和義

4月9日（木）に入学式を開催しました。今年度は81名の子どもたちが新たに入学しました。令和8年度は、全校児童526名のスタートです。この一年、保護者や地域の皆様のご理解とご支援を頂きながら、さまざまな教育活動に取り組んでいきたいと考えております。

入学式前日のことです。“ふれあいの庭”で鉄板一枚一枚を丁寧に洗う6年生の子どもたちの姿がありました。「何をしているのですか？」と声をかけたところ、「明日入学する1年生の下足箱の鉄板をきれいにしています」と答えてくれました。その後、正面玄関に行くと、2年生の子どもたちが、自分たちが栽培したチューリップをきれいに並べていました。1年生が喜んでくれることを心から願う純粋で、温かな素敵な子どもたちです。

入学式当日。堀川小学校では、学級担任の呼名後、1年生一人ひとりが手を挙げ、「はい」と返事をするようになっていました。入学したばかりの1年生にとっては緊張する瞬間であり、この時ばかりは和やかな雰囲気から静かな雰囲気へと会場の雰囲気が一変します。在校生や保護者の皆様だけでなく、来賓の皆様も、『全ての1年生が元気よく、無事に返事をしてほしい』と心から願い、一人ひとりを見つめます。こうした優しい雰囲気の中、1年生の子どもたちは元気よく「はい」と返事をすることができました。その後、



手を挙げ、元気よく返事をする1年生

出席者全員で校歌を歌いました。「なかよく みんな のびのびと」「手をとりあって 助け合い」「望みを高く いたこうよ」「さいわい多く ゆめ多い」と、元気な歌声が体育館いっぱいに響き渡り、地域、保護者の皆様と学校が一つになりました。

当日は、多くの来賓の皆様にご出席していただきました。“堀川の子”を『宝物』だと思い、いつも大切に見守り、支えてくださる地域の方の温かさに触れ、改めて“ふるさと堀川”に暮らす子どもたちは、『何て幸せなんだろう』と感じるとともに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

“ふるさと堀川”には、『宝物』である子どもたちを温かく見守り、支えていこうとする“心”があります。私は、そのような地域の皆様とともに、子どもたちが互いの存在を認め合い、共に励まし、支え合いながら成長しようとする温かな学校をつくりたいと考えています。そして、温かな雰囲気の中で、全ての子どもたちが自分の可能性に向かって成長することができるよう精一杯取り組んでまいります。



子どもたちと校歌を歌う来賓の皆様

学校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。